

**GRIガイドライン対照表**

本対照表は「GRIサステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」において、報告書の内容として示されている各項目につき、本報告書での記載ページを表したものです。

**1. ビジョンと戦略**

項目	指標	記載ページ
1.1	持続可能な発展への寄与に関する組織のビジョンと戦略に関する声明	04~05
1.2	報告書の主要要素を表す最高経営責任者の声明	04~05

**3. 統治構造とマネジメントシステム**

構造と統治		記載ページ
3.1	組織の統治構造。取締役会の下にある、戦略設定と組織の監督に責任を持つ主要委員会を含む。	22
3.4	組織の経済・環境・社会的なリスクや機会を特定し管理するための、取締役会レベルにおける監督プロセス。	22
3.6	経済・環境・社会と他の関連事項に関する各方針の、監督、実施、監査に責任を持つ組織構造と主務者。	20、22
3.7	組織の使命と価値の声明。組織内で開発された行動規範または原則。経済・環境・社会各パフォーマンスにかかわる方針とその実行についての方針。	06、19、29
3.10	ステークホルダーとの協議の手法。協議の種類ごとに、またステークホルダーのグループごとに協議頻度に換算して報告。	10~14、16~18
3.11	ステークホルダーとの協議から生じた情報の種類。	10~14、16~18
3.12	ステークホルダーの参画からもたらされる情報の活用状況	10~14、16~18
統括的方針およびマネジメントシステム		
3.16	上流および下流部門での影響を管理するための方針とシステム。	25
3.19	経済・環境・社会的パフォーマンスに関わるプログラムと手順。	31~32
3.20	経済・環境・社会的マネジメントシステムに関わる認証状況。	30

社会的パフォーマンス指標		記載ページ
■雇用		
L A 1	労働力の内訳（可能であれば）：地域・国別、身分別（従業員・非従業員）、勤務形態別（常勤・非常勤）、雇用契約別（期限不特定および終身雇用・固定期間および臨時）。また、他の雇用者に雇われている従業員（派遣社員や出向社員）の地域・国別の区分。	53
L A 2	雇用創出総計と平均離職率を地域・国別に区分。	53
■労働/労使関係		
L A 3	独立した労働組合もしくは真に従業員を代表する者・団体の従業員によりカバーされている従業員の地理的な割合。または団体交渉協定によりカバーされている従業員の地域・国別の割合。	53
L A 4	報告組織の運営に関する変更（例：リストラクチャリング）の際の従業員への情報提供、協議、交渉に関する方針と手順。	53
■安全衛生		
L A 6	経営陣と労働者代表からなる公式の合同安全衛生委員会の記述と、この様な委員会が対象としている従業員の割合。	54
■多様性と機会		
L A 10	機会均等に関する方針やプログラムと、その施行状況を保証する監視システムおよびその結果の記述。	52
■人権：方針とマネジメント		
H R 1	業務上の人権問題の全側面に関する方針、ガイドライン、組織構成、手順に関する記述（監視システムとその結果を含む）。	52

**2. 報告組織の概要**

組織概要		
2.1	報告組織の名称	55
2.2	主な製品やサービス。それが適切な場合には、ブランド名も含む。	55~56
2.3	報告組織の事業構造	55~56
2.4	主要部門、製造部門子会社、系列企業および合併企業の記述	55、58
2.5	事業所の所在国名	55
2.6	企業形態（法的形態）	55
2.8	組織規模	55~56
報告書の範囲		
2.10	報告書に関する問合せ先。電子メールやホームページのアドレスなど。	58
2.11	記載情報の報告期間（年度/暦年など）。	58
2.13	「報告組織の範囲」（国/地域、製品/サービス、部門/施設/合併事業/子会社）と、もしあれば特定の「報告内容の範囲」。	58

**4. GRIガイドライン**

4.1	GRI報告書内容の各要素の所在をセクションおよび指標ごとに示した表	本表
-----	-----------------------------------	----

顧客の安全衛生		記載ページ
P R 1	製品・サービスの使用における顧客の安全衛生の保護に関する方針、この方針が明白に述べられ適用されている範囲、またこの問題を扱うための手順/プログラム（監視システムとその結果を含む）の記述。	42~44

**報告書の概要**

2.17	報告書作成に際しGRIの原則または規定を適用しない旨の決定の記述。	58
2.18	経済・環境・社会的コストと効果の算出に使用された規準/定義。	39~40
2.20	持続可能性報告書に必要な、正確性、網羅性、信頼性を増進し保証するための方針と組織の取り組み。	58
2.21	報告書全体についての第三者保証書を付帯することに関する方針と現行の取り組み。	57
2.22	報告書利用者が、個別施設の情報も含め、組織の活動の経済・環境・社会的側面に関する追加情報報告書を入手できる方法（可能な場合には）。	28、30、32、50

**5. パフォーマンス指標**

経済的パフォーマンス指標		記載ページ
■顧客		
E C 1	総売上げ	55~56
環境パフォーマンス指標		
■エネルギー		
E N 4	間接的エネルギー使用量。	33
■水		
E N 5	水の総使用量。	36
■放出物、排出物および廃棄物		
E N 8	温室効果ガス排出量（CO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O、HFCs、PFCs、SF <sub>6</sub> ）	33
E N 1 1	種類別と処理方法別の廃棄物総量。	35
E N 1 2	種類別の主要な排水。	36
E N 1 3	化学物質、石油および燃料の重大な漏出について、全件数と漏出量。	18
■製品とサービス		
E N 1 4	主要製品およびサービスの主な環境影響。	33~38

製品とサービス		記載ページ
P R 2	商品情報と品質表示に関する組織の方針、手順/マネジメントシステム、遵守システムの記述。	45~48
■プライバシーの尊重		
P R 3	消費者のプライバシー保護に関する、方針、手順/マネジメントシステム、遵守システムの記述。	23